

重点 国際競争に打ち勝つ「瀬戸内産業再生戦略」

物流拠点港湾の機能強化

目標

物流拠点港湾施設の整備等を推進し、
県内企業の国際競争力を強化

・年間石炭輸入量：平成20年代末までに1,400万トン

**主な
取組**

- 大型船舶による一括大量輸送、港湾連携の推進
(国際バルク戦略港湾の整備)
- 効率的な荷役システムの充実・強化(物流機能の強化)
- 大規模災害時の物流拠点の確保(耐震機能の強化)
- ソフト施策の充実(効率的な港湾運営及び利用促進)



工業用水の安定供給

目標

企業立地や既存企業の新たな投資計画に
対応できる「工業用水の安定供給体制の確保」

- ・水資源対策：島田川分水事業(14,100m³/日)
平成28年度末進捗率30%(平成31年度中の供用開始)
- ・渇水対策：渇水時追加給水可能量 最大約170万m³/年
(川上ダム一時貯留、応援給水、宇部丸山ダム送水ポンプ)

**主な
取組**

- 周南地区 企業局第3次経営計画に基づく水資源・渇水
対策の推進(分水、新たな水資源確保等)
- 宇部・山陽小野田地区 宇部丸山ダムの活用など渇水対策の推進
- 全県(7地区) 国の料金制度の見直しに合わせた新たな取組の推進



物流等基盤の強化

目標

幹線道路網の整備など、基盤強化等による
迅速かつ円滑な物流等の実現

- ・解消する主要渋滞箇所数：4年間(平成25～28年度)で5箇所以上
- ・整備を完了する国道・県道の延長：4年間(平成25～28年度)で60km以上

**主な
取組**

- 山陰道、地域高規格道路の事業中区間の整備促進、
未着手区間の新規事業着手
- 港湾、空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設促進
- 特殊車両通行許可制度の改善等による物流の効率化



戦略的な企業立地等の推進

目標

「ものづくり先進県やまぐち」の実現

- ・新規投資(企業誘致・規模拡大投資)件数(累計)
4年間(平成25～28年)で200社以上

**主な
取組**

- 成長が期待される分野等への重点的・戦略的な企業誘致活動の推進
- 工場適地等を活かした設備投資等の促進
- 企業誘致推進体制の強化
- 付加価値の高い研究開発や事業化への支援



産業インフラの長寿命化

目標

産業インフラの戦略的な維持管理・更新

- ・橋梁の長寿命化計画に基づく修繕実施橋りょう数(累計)：平成28年度末までに170橋
- ・港湾施設の予防保全計画に基づく改良箇所数(累計)：平成28年度末までに4箇所
- ・工業用水道関係：優先的に更新を要する管路老朽化対策 平成28年度末進捗率25%
(重要度、健全度により優先的に更新を要する延長8km)

**主な
取組**

- 道路、港湾施設の長寿命化対策の推進
(道路ストックの点検及び修繕・更新、橋梁・港湾施設の長寿命化対策)
- 工業用水道の老朽化対策の推進
(管路等の老朽化対策、隧道の点検及び補修・補強)

